

まちづくり

鴻巣市に廃熱利用の
温浴施設建設検討

石井直彦
(発言と行動する会)

問 鴻巣行田北本環境資源組合では、ごみ処理施設を建設予定の鴻巣市に廃熱利用の温泉・温水プールを整備するとの説明があった。本市には既に約8万㎡のごみ処理施設建設予定地がある。鴻巣市に施設整備することについて市長の考えを伺う。

答 余熱利用施設整備は地元住民の福祉増進を図ること及びごみ処理施設建設に当たっての影響を緩和するために必要と考えている。

問 本市には環境調査も終了しているごみ処理施設予定地があり、有効活用が必要である。ごみ処理施設は迷惑施設ではなく「ごみは資源」の考えが主流であり、本市にごみ処理施設を建設することで、温水プール、子ども温水プール、温泉、熱帯植物園等の廃熱の利用が期待できる。

答 また、維持管理費等を40年間支出すると波及する経済効果は600億円超と考えられる。今でも市長はごみ処理施設を迷惑施設と考えているか。

答 循環型社会の形成のため、ごみ処理施設は迷惑施設という分類の認識はない。

問 迷惑施設ではないと断言できるならば、本市の遊休ごみ処理施設予定地に建設することが最も良い方法ではないか。どんな条件が出た時、鴻巣行田北本環境資源組合から離脱を考慮するのか。

答 三市合意のもとで始まっているので前提条件等、一切考えていない。

【その他の主な質問】

○インフルエンザ予防接種、高齢者肺炎球菌予防接種、子ども医療費、給食費について
○循環バス（西循環コース）値上げについて

共生社会

本市におけるノーマライゼーション
の進捗について

野本翔平
(新政策研究会)

問 昨年4月に障害者差別解消法が施行されたが、その3ヶ月後には相模原市の知的障害者施設で大変痛ましい事件が起きてしまった。

障がいのある人もない人も共に生きる社会を目指すノーマライゼーションの取り組みは益々重要性を増していると考えます。本市において障がいのある児童生徒の在籍状況は。

答 知的学級が21学級、自閉・情緒学級が16学級あり、各学級1名〜7名の児童・生徒が在籍している。

問 人数の推移はどうか。具体的な数は把握していないが確実に増えていると思う。

答 その理由は何か。本市においては特別な支援が必要な子どもたちの把握に努めており、学校と保護者相互の理解が進んだため、該当する

子どもの数が増えたと認識している。

問 小中学校に配置の介助員の勤務内容は。

答 身体面及び情緒面で不安のある児童・生徒の支援を行うもので、生活面では校内の移動やトイレ等の介助、学習面では担任と一緒に支援を行っている。

問 特別な支援が必要かどうかの判断が難しい子どもたちもいると思うが把握はしているか。

答 通常学級に在籍しており、確定診断がなく、支援が必要と考える児童・生徒が115人いると把握している。

【その他の主な質問】

○小説「陸王」のドラマ化に際して市としてどんな取り組みをするのか。

まちづくり

魅力あるまちづくりのために積極的な改善が進められているか

細谷美恵子
(発言と行動する会)

地方自治は議会と執行部の二元代表制で、双方が緊張関係に立ち議論するもので、実行すると決めたことは実行し、すみやかな実現が求められる。本議会においての議論がなざりにされていないか検証する。

問 全国学力・学習状況調査で本市は国や県の平均を毎年下回っている。重大な問題で喫緊に取り組みとしたが。

答 現状を大変重く受け止めている。授業の改善や教職員の資質向上、家庭学習の見直し等考えている。実態把握のため独自の学力調査も実施した。

問 毎月開催の教育委員会では議論されていない。市長が議長の「総合教育会議」では議論されたか。

答 今年の2月、初めて秋田県大仙市を視察した。

問 アンケートでは行田の子どもの学習意欲は高い。学力結果に反映しないことへの分析はしたか。

答 分析は難しい。この10年実施されてきた少人数学級編制事業の検証は。成果は何か。

答 先生の目・心配りと授業への参加しやすさ。少人数学級編制で学力向上の効果はあったか。

答 学力向上に効果があったとは言えない。

問 昨年6月議会で体育館をなぜ学童に使わせないのか問うた。制限して用できないのはなぜか。
答 12の学童から利用希望を受け付けた。各学校長に依頼を行っている。
問 6月議会で合意したのにスピード感ある実行が伴わないのは残念だ。
答 現在動きだした。